

日本産業衛生学会 四国地方会 地方会ニュース

第47号 2024年10月1日発行

発行責任者 菅沼 成文

発行 〒780-8570 高知市丸ノ内一丁目2-20

高知県庁総務部職員厚生課内

日本産業衛生学会四国地方会事務局

事務局 杉原由紀



ご挨拶

第35回日本産業衛生学会全国協議会

企画運営委員長 齋藤 恵

(徳島産業保健総合支援センター 所長/日亜化学工業(株) 産業医)

謹啓

平素より日本産業衛生学会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、第35回日本産業衛生学会全国協議会を令和7年(2025年)11月27日(木)・28日(金)・29日(土)の3日間、あわぎんホール(徳島市)を会場に開催することとなりました。あらためて、このような機会を与えてくださった方々に心より感謝申し上げます。四国の地方都市での開催で、徳島は初めてという方もいらっしゃるかと思いますが、精いっぱいおもてなしをさせていただけるよう準備を始めておりますので、どうかよろしく願いいたします。

今回第35回日本産業衛生学会全国協議会のテーマは、「すべての労働者が元気に働ける産業保健をめざして」にいたしました。女性労働者、外国人労働者の進出、定年延長による高齢労働者の活躍、障害や病気を持ちながら就労継続する労働者、現代の産業現場は多様性に溢れています。

すべての労働者がそれぞれの置かれた立場で、最大限に能力を活かし、いきいき元気に働けるために、私たちは何を目指すべきか。これは私たち産業保健に関わるものにとって永遠のテーマであると思います。活発な意見交換や議論を行う場が提供できたら幸いです。

徳島は、海、山、川に囲まれた自然豊かな県です。8月の阿波踊り期間には県内各地が「ぞめき」に包まれます。皆様にも、ぜひ会期中に阿波踊りを体験していただきたいと思います。鳴門金時、阿波尾鶏等の徳島ならではの食材も楽しんでいただきたいです。

一人でも多くの皆さんの参加を歓迎するとともに、よりよい研鑽の場にさせていただきますよう、企画運営委員一同、準備に取り組んでまいりますので、どうか徳島にお越しください。心よりお待ちしております。

第35回 日本産業衛生学会
全国協議会

すべての労働者が
元気に働ける
産業保健
をめざして

会場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) 徳島市藍場町2-14
会期 2025.11.27(木)~11.29(土)



第 68 回中国四国合同産業衛生学会(岡山)のご案内

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
疫学・衛生学分野准教授 高尾 総司

このたび、合同地方会を岡山県岡山市で開催します。

会期は、11月23日(土祝)と24日(日)の二日間で、会場は岡山大学鹿田キャンパスになります。

テーマは、「**労務管理と健康管理の間隙を埋める**」としました。

以前から、勤怠に問題の生じた労働者の対応については、就業規則に沿った注意や指導をする前から、産業医や保健職に安易に「面談」を求める傾向はありました。健康問題が実際に背景にあり、当該労働者も誠実に職務を遂行せんとする意思意欲が確たるものであった時代においては、私たちの努力も一定の功を奏していたと記憶しています。しかしながら、近年では、意識も変わり、いってみれば労働者と企業の両者に妥協を求めるような提案に対して、譲歩しない両者の間で産業医や保健職がジレンマに立たされるだけでなく、両者の紛争に当事者として巻き込まれるような事態も、他人事ではなくなってきました。すなわち、労務・法務との役割分担をどう考えるかは、もはや先送りすることのできない、真正面から取り組むべき「産業保健上の課題」となったといっても言い過ぎではないでしょう。

本学会では、このような問題意識から前園綜合法律事務所 弁護士 前園健司氏および株式会社 Office d'Azure 社会保険労務士 森悠太氏に、事例検討および事例検討を踏まえた特別講演を行っていただきます。

日頃の業務でお忙しいことと存じますが、是非、岡山にお越し頂きますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

詳細はこちらから <https://www.unit-gp.jp/eisei/wp/?p=6751>

【産業医研修会】 (事前申し込み；11月4日(日)まで)

■産業医研修会0(産業医部会研修会) 単位数：生涯実地2単位 *申請予定

11/23(土)13時00分～15時00分 「**認知症と就業支援に関する理解を深める**」

講師：奈良井理恵(マツダ株式会社 安全健康防災推進部 産業医)

：斎藤 恵(日亜化学工業(株) 管理本部産業医室 産業医)

■産業医研修会1(産業看護部会研修会) 単位数：生涯実地2単位 *申請中

11/23(土)15時30分～17時30分 「**法務・労務の視点から整理するメンタルヘルス事例検討**」

講師：高尾総司(岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 准教授)

前園健司(前園綜合法律事務所 弁護士)

森 悠太(麻の葉経営コンサルタント 社会保険労務士)

■産業医研修会2(特別講演) 単位数：生涯専門2単位 *申請中

11/24(日) 10時00分～12時00分 「**チームで臨むメンタルヘルス対応**」

講師：高尾総司(岡山大学大学院 疫学・衛生学分野 准教授)

前園健司(前園綜合法律事務所 弁護士)

森 悠太(麻の葉経営コンサルタント 社会保険労務士)



第10回オースタムセミナー参加報告

三菱ケミカル株式会社 人事本部 Japan 人事部健康支援グループ（香川）

産業医 森山 貴弘

2023年11月3日に松山市で開催されたオースタムセミナーに参加しましたので、報告いたします。3連休の初日だったため、JR松山駅や伊予鉄松山市駅～松山城にかけて観光客や家族連れで賑わいをみせていました。また、晴天のためか最高気温26℃と季節外れの暑さもあり、半袖の人もちらほら見かけました。

今回のオースタムセミナーでは、中四国エリアの産業医の重鎮であられる鎗田労働衛生コンサルタント事務所の鎗田圭一郎先生に、「産業医活動の実際」を語っていただきました。鎗田先生は産業医科大学1期生のご入学であり、小職の大先輩であります。その頃は産業医科大学の卒後修練の制度が整っておらず、大変苦労をされた（他の大先輩の先生方からも）伺っています。

大学をご卒業後にマツダ(株)の専属産業医としてご勤務されています。数万人の従業員に対し、当初の産業医は鎗田先生ほぼお一人で対応されたとのことで、様々なご苦労・ご経験を語っていただきました。CTD（反復性外傷障害（職業性頸肩腕障害））への労働衛生教育・CTD健診、騒音作業と耳栓着用による聴力比較研究、じん肺/石綿肺への対応、有機溶剤・特化物への対応、新入社員による結核の集団感染、生活習慣病対策、メンタル疾患の事例対応、と言った様々なご経験を詳細にご説明いただきました。その際、会社の役員に産業医の立場を理解してもらい、ご協力頂いたと伺いましたが、鎗田先生のお人柄あってのものだと感じました。また、マツダ病院の内科・精神科等にもご勤務されており、実臨床の経験を積めたこと、従業員への検査がすぐに行えたことなど、企業立病院がある大企業で勤務する専属産業医の意外なメリットを知ることができました。

現在、鎗田先生はいわゆる独立系産業医として事務所を開設されておられます。特にメンタル疾患や発達障害のある従業員にブルドン抹消検査を行っており、業務遂行能力やメンタル状態を把握する一助となっているとのことで、産業医面談時の手段の一つとして興味深く感じました。そのほか、独立系産業医のやりがいと収入(!)、大変さも面白く教えていただきました。

参加人数は講師の鎗田先生を含めて9名と、産業医のみの内輪の話と言うこともあって、自殺や石綿肺、結核の集団感染といった社外にオープンにしにくい事例について、貴重なご講演を聴くことができました。

セミナー後の懇親会には、8名の先生方が参加されました。近くのカフェバーにておいしい地ビールと自家焙煎コーヒーを片手にお互いの親睦を深め、解散しました。





第 67 回中国四国合同産業衛生学会産業保健看護部会研修会

東レ(株)愛媛工場 保健師 中村いづみ

2023年12月、我が街愛媛県で開催された、中国四国合同産業衛生学会に参加させていただきました。今まで学会という場に馴染みがなかったため緊張していましたが、各県から続々とご来場されるみなさまのキラキラした表情と、すぐに打ち解け合える穏やかな環境の中で、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

今回は、青森県立保健大学 千葉敦子先生より、「産業保健看護職のスキルアップの現状と課題」についてご講演いただきました。産業保健看護職の現状と課題では、近年の看護学生の特徴や教育の課題、コロナ禍含めた活動の実態を青森県の現状を交えてお話くださいました。またその上で、今度の将来予測をもとに、産業保健看護職が向かうべき方向性についてグループディスカッションをしながら意見交換を行いました。

「令和2年度 事業場における保健師・看護師の活動実態に関する調査報告書」では、何らかの雇用形態で保健師もしくは看護師を1人以上雇用している事業場について、産業保健師・看護師の雇用人数は1人～2人が全体の7割以上を占めています。実際わたしも1人職場で自己研鑽の必要性を強く感じており、企業内および個人の潜在化した問題を顕在化させる課題に対して思考錯誤している毎日です。今回の研修会では、多様な働き方が求められる時代下での産業保健看護職の役割について学びを深めることができました。今後もこのような研修会に積極的に参加し、学習の場を広げていきたいと思えます。

2024 四国地方会・産業保健看護部会研修会



株式会社タダノ 谷井花菜子

2024年8月3日サポート高松で愛知医科大学看護学部の谷口千枝先生をお招きし、「あなたもできる！禁煙支援のHow to」と題して、研修会を開催しました。四国内の産業保健看護職が45名参加し、貴重な講話を拝聴するとともに、ワークショップでは、実践的な学びの多い貴重な情報交換の機会となりました。アンケート結果では、満足度も実用度も高評価で、講話がわかりやすく、禁煙支援への敷居が下がったとの声がありました。

私は、喫煙者の方へどのような声かけが効果的か迷っていたこともあり、今回の講話をととても楽しみにしていました。講話では、喫煙のデメリットより、禁煙のメリットを伝え、重要性・自信度を高めるポジティブな声かけをすることが重要と学びました。また、対象者も指導者側も楽な気持ちで取り組んで良いと実感できたことが印象的です。ワークショップのカードを用いた演習は、実践的で保健指導の場面です



すぐに活用できる内容でした。元気の出る時間を参加者と共有でき、禁煙指導のモチベーションが上がり、意欲が一層湧いてきました。社内の保健師間で、お土産のカードを活用してトレーニングしていきたいです。

谷口先生には、楽しく教えていただき、今後の保健活動へ活かせる学びが盛りだくさんで、有意義な時間でした。学会の研修会は、学びだけでなく、産業保健看護職との交流もあり、人とのつながりを感じるよい機会だと思えました。

産業医部会報告

日亜化学工業(株)健康管理センター 斎藤 恵
高知県庁 総務部職員厚生課 杉原 由紀

産業医部会活動について報告します。

1. 第10回オータムセミナーの開催

2023年11月3日(金)松山市にて、鎗田労働衛生コンサルタント事務所(広島)の鎗田圭一郎先生から、「産業医活動の実際」についてご講演いただきました。8名の会員が参加しました。

2. 第67回中国四国合同産業衛生学会産業医部会研修会(松山)の開催

2023年12月2日(土)、中国地方会産業医部会との共催で、産業医部会研修会を開催しました。日本頭痛学会専門医である野口俊治先生(きたじま田岡病院:徳島)からご講演いただきました。頭痛診療の最新情報の一端を知ることができました。約30名の方々に参加いただきました。



3. 産業医部会幹事会

- 第1回 Web開催(2023年4月16日)
- 第2回 第96回日本産業衛生学会開催時
(2023年5月10日)
- 第3回 Web開催(2023年10月9日)
- 第4回 Web開催(2024年2月12日)

産業保健看護部会報告

株式会社タダノ 赤澤 百合子

産業保健看護部会活動について報告します。

1 【第5回四国地方会産業保健看護部会研修会(高知)】(2023/8/24(土))

2023年は、高知担当で「健康行動を促すナッジ理論」青森大学竹林正樹先生の講話を伺うことができました。参加者39名で、平均満足度4.4 実用度4.3(5段階評価)と高い評価でした。ナッジ理論を身近で活用できる手応えを受け、今後の保健活動へ活かしたいという意欲ある声が多かったです。

2 【第67回中国四国合同産業衛生学会(松山)】(2023/12/2(土) 12/3(日))

部会研修会は、千葉敦子先生(青森県立保健大学)から「産業保健看護職のスキルアップの現状と課題」について講話をいただきました。51名の参加があり、平均満足度4.8 実用度4.4(5段階評価)と高い評価でした。お互いの交流の場にもなり、日頃の活動の振り返りのいい機会になりました。産業保健看護職が社会に何が求められているのか、また、自分が自己研鑽するための方法(専門家制度を利用)をわかりやすく知る機会になりました。未来の自分も想像しながら自分に必要なことを見つけ、取り組みたいと思いました。

2025年度は、全国協議会および中国四国合同産業衛生学会が徳島で開催されます。多くの仲間が集い、お互いの交流や知識を深めることができる機会になるよう、準備をしていきたいと思えます。



産業歯科保健部会報告

うぐるす歯科医院 沼田 和治

令和5年度の四国産業歯科保健部会活動報告と令和6年度の事業報告を致します。

■第67回 中国四国合同産業衛生学会 歯科保健部会が開催されました。

【日時】令和5年12月2日(土)

【開催場所】愛媛大学城北キャンパス

座長：徳島大学大学院医歯薬学研究部 予防歯科分野
伊藤 博夫 先生

① 歯科診療における感染予防対策の実際

広島大学 大学院医系科学研究科(歯)

太田 耕司 先生

② 歯科訪問診療からみる現場での労働問題

にしおか歯科クリニック 西岡 達志 先生

③ 愛媛県歯科医師会の産業保健に関する取り組みについて

一般社団法人 愛媛県歯科医師会 山内 誓 先生

■第68回 中国四国合同産業衛生学会 歯科保健部会が開催されます。

【日時】令和6年11月23日(土) 15:30~17:00

【開催場所】岡山大学鹿田キャンパス

【テーマ】「労務管理と健康管理の間隙をうめる」

産業衛生技術部会報告

愛媛大学 浜井 盟子

化学物質の自律管理が令和6年4月から本格的に始まりました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000099121_00005.html

には、大量の通達、指針、ガイドライン、Q&A、テキスト、動画等が掲載され、日々更新されています。ばく露濃度基準値、がん原生物質、保護具着用義務の化学物質等も、随時追加されており、化学物質管理者及び保護具着用管理責任者の業務負担がいかほどかと思われまます。また、今回の法改正は、法令遵守型から自律管理型へのパラダイムシフトであり、現場の作業者の意識改革、教育がさらに重要となります。

労働衛生の3管理は、作業環境管理、作業管理、健康管理です。そのうち、作業環境管理、作業管理は技術部会のマターであり、有害作業から健康を護る上流側の対策となります。健康障害を引き起こさないための対策を実施するためには、有害物の物理化学的な特性を知り、どのように労働生理に影響するかの基本的な概念を学習することが欠かせません。技術部会として、法改正の認知度及び意識調査等を実施し、問題点等の洗い出しをする活動をいたします。

一人一人が、情報を収集し具体的なリスクを予見する能力を持ち、妥当性のある低減措置が提案できるようになるための情報共有に努めて参ります。

【四国地方会選挙管理委員会からのお知らせ】

地方会長および代議員選挙は、

10月1日(火)~10月14日(月)の期間に電子投票にて行います。

選挙権をお持ちの会員の皆様は、

会員ログインができる状態になっていることを事前にご確認の上、

上記の期間に、日本産業衛生学会のウェブサイトから投票してください。

○2023 年度会計報告 (2023 年 3 月～2024 年 2 月)

収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算	科目	決算	科目	決算
事業収益	560,500	事業費	1,764,029	研究会費			
協賛金等		臨時雇賃金	121,000	委託費			
参加登録料収益	549,500	会場費	143,580	国際交流費			
資格認定収益		旅費交通費	186,090	開発保守費	99,517		
その他事業収益	11,000	通信運搬費	15,820	雑費	442,511		
受取補助金等	1,430,790	印刷製本費	41,400				
受取本部助成金	1,430,790	懇親会費	165,930	管理費	770		
受取国庫助成金		消耗品費	31,000	給料手当			
受取地方公共団体助成金		機関誌発行費	45,454	理事幹事会費			
受取民間助成金		広報渉外費		旅費交通費			
受取負担金		研究費		通信運搬費			
受取活動費		諸謝金	171,727	役員改選費			
受取寄付金	50,000	学会助成金	200,000	印刷製本費			
受取寄付金	50,000	協議会助成金		消耗什器備品費			
雑収益	338,626	協議会助成金		消耗品費			
受取利息	20	大会研修会助成金		会員報奨費			
雑収益	338,606	部会助成金	100,000	広報渉外費			
		地方会助成金		委託費			
		委員会費		雑費	770		
経常収益計	2,379,916			経常費用計	1,764,799		

○四国地方会のウェブサイトができました！

⇒ <https://sanei-shikoku.jp/>

ぜひ、ご確認ください。

第 68 回中国四国合同産業衛生学会 の最新案内もこちらから。

四国地方会ウェブサイトのトップページにバナー広告を募集します。

詳細につきましては、四国地方会事務局までご相談ください。

★★★ 編集後記 ★★★

四国地方会のウェブサイトの表紙には、「四国地方会は、愛媛県、香川県、徳島県、高知県の四国地方に勤務または在住する日本産業衛生学会会員を中心に、産業衛生の進歩を図るとともに会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。」と表記されています。

四国地方会は 9 つの地方会の中では一番小さな地方会ですが、その分、会員相互の親睦を図り仲間同士で助け合える地方会です。ぜひ、このウェブサイトを手順に活用して、四国の産業保健活動を活発にしていきたいと考えています。次年度は第 35 回全国協議会も徳島での開催です。会員相互が協力し合い、実りある全国協議会を開催できるよう、会員の皆様方にもご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。(事務局)



第98回

日本産業衛生学会

「持続可能でよりよい世界を目指す産業保健」

会場：仙台国際センター展示棟、川内萩ホール(東北大学)、他

会期：2025年5月14日(水)～17日(土)

企画運営委員長

黒澤 一 (東北大学環境・安全推進センター教授・統括産業医)

<https://convention.jtbcom.co.jp/sanei98/>

■ 学会事務局

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

■ 運営事務局

株式会社JTBコミュニケーションデザイン事業共創部 コンベンション第二事業局
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル8階
TEL: 06-4964-8869 FAX: 06-4964-8804 E-mail: sanei98@jtbcom.co.jp

イラスト：山本重也